

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ・21st 音更宝来校			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	2025年 3月1日 ～ 2025年3月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	能力開発型のサポート療育を教室の強みとしており、子どもたちの得意分野のスキルアップ・新しい可能性の発掘に特化したカリキュラムであること。	子どもたちの特性や成長に合わせた学習や取り組み内容の提案を行っている。新しいことへ臆することなく挑戦していくことができるような環境・雰囲気作りに注力しています。	様々な経験を重ねてもらうことができるように、定期的に取り組み内容の見直し・改善・提案を職員間で行っています。
2	将来の就労や進学、自立に向けた取り組み内容であること。 具体的には、将来の就職に備えたパソコンスキルの向上を行うことで様々な検定資格を取得していくことができるように必要最低限の読み書きスキル向上を目的とした漢字検定への取り組み等を行っています。	楽しみながらスキルアップしていくことができるように個々のレッスンカリキュラムを提案・実施しています。 成功体験を重ねていくことで自己肯定感の向上や自信につなげていくことができるように、スモールステップを常に意識して沢山の褒める声掛けを行っています。	職員間ミーティングを随時行うことで、レッスン内容の充実を図っています。
3	異学年交流を通して様々なお友だちとの関わりの中で培ってもらうことができるコミュニケーション力の向上カリキュラムであること。	通所開始時間が早い利用者に対し、統一日課時間前の支援サービスの提供に工夫をして利用児童が日課取り組み前に様々な体験、経験と時間の過ごし方ができるように意識しています。	子ども達同士がたくさん関わり、交流することができる活動内容となるように検討、計画を随時行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との交流や地域の他の子ども達と活動を共にする機会が持てていないです。	常に安心して利用してもらえる教室・安定した療育・環境を提供していくことを軸としている為、取り組み内容に変化を加えることが難しい時があります。	子どもたちの特性に配慮しながら突然の変化とならないように事前告知の徹底を行っていくことで対応力を養うと共に楽しい活動内容となるように事前打ち合わせを重ねていきたいと思います。新しい取り組みを行っていくためにも職員スキルの向上及び情報収集に注力していきます。
2			
3			